

日時：2023年3月10日（金）

13:30～18:00

場所：日仏会館 1階 ホール

（東京都渋谷区/最寄駅 JR・東京メトロ 恵比寿）

※事前申込必要／詳しくは裏面をご覧ください

近代社会の到来とともに成立した社会学は、常に「近代」を研究の土台に見据えてきた。社会学から人類学へという流れの中で、「近代」が相対化される一方、「ポストモダン」をめぐる議論では、現在ではもはや「近代社会」ではないのではないかという問いも示される。デュルケーム、ブルデューというフランス社会学の伝統を踏まえつつ、さらに今日の日本の状況をも視野に入れて、モダニティについてあらためて問い直す。

Repenser la modernité : Durkheim, Bourdieu et au-delà

主催：科学研究費補助金・基盤研究（B）「『集合意識』から『情動の社会学』へ——デュルケーム社会学の現代的展開」（22H00904）
日仏社会学会、デュルケーム/デュルケーム学派研究会

共催：日仏会館・フランス国立日本研究所、協力：公益財団法人日仏会館



モダニティを
問い直す
デュルケーム、ブルデュー、
さらにその先へ

社会学とその周辺
人類学・哲学との関わり

Sociologie et ses alentours : anthropologie et philosophie

日時：2023年2月27日（月）

13:30～18:00

場所：奈良女子大学（奈良市内/最寄駅 近鉄奈良）
文学系S棟 S235

社会学と、人類学・哲学というその隣接領域との関わりを、デュルケーム、グラネ、レヴィ=ストロース、ベルクソンに着目して考究する。

※ 2月28日（火）ラウンドテーブルも開催
10:30～12:30 奈良女子大学文学系N棟N339教室

お問合せ先は本科研のウェブサイト参照のこと
<https://avecdukheim.com/>



主催：科学研究費補助金・基盤研究（B）「『集合意識』から『情動の社会学』へ——デュルケーム社会学の現代的展開」（22H00904）、日仏社会学会、デュルケーム/デュルケーム学派研究会
共催：奈良女子大学社会学研究会、神戸大学社会学研究会

3月10日
(金)

モダニティを問い直す： デュルケーム、ブルデュー、さらにその先へ

Repenser la modernité : Durkheim, Bourdieu et au-delà

13:30~18:00 日仏会館 1階ホール Maison franco-japonaise, Auditorium

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-25 JR山手線:恵比寿駅東口徒歩10分 東京メトロ日比谷線:恵比寿駅1番出口徒歩12分

参加無料
要申込
Inscription

日仏会館・フランス国立日本研究所Web siteより参加申込みをお願いします

https://www.mfj.gr.jp/agenda/2023/03/10/2023-03-10_colloque_shiratori/index_ja.php

デュルケーム、ブルデューというフランス社会学の伝統を踏まえつつ、さらに今日の日本の状況をも視野に入れて、モダニティについてあらためて問い直す。

参加申込みはこちら→

司会 modérateur・白鳥義彦 SHIRATORI Yoshihiko (神戸大学)

1. 趣旨説明 présentation du colloque (13:30~13:40)
小川伸彦 OGAWA Nobuhiko (奈良女子大学)

言語：日本語・フランス語 (同時通訳あり)

2. 講演 conférence (13:40~15:40)
ジルダ・サルモン Gildas SALMON (国立科学研究センターCNRS・社会科学高等研究院EHESS)
近代人および非=近代人における機械的連帯と有機的連帯：ブルデューと進化主義の危機
Solidarité mécanique et solidarité organique chez les modernes et les non-modernes:
Bourdieu et la crise de l'évolutionnisme



ジルダ・サルモン Gildas SALMON

哲学者。CNRS (国立科学研究センター) 研究員。EHESS Laboratoire interdisciplinaire d'études sur les réflexivités - Fonds Yan Thomas [Le LIER-FYT] (社会科学高等研究院 反省性に関する学際研究室—ヤントマ文庫) 所属。

〈研究分野〉 社会科学の歴史、比較研究、人類学(神話、親族、分類)、精神の理論、記号学。

〈主要著作〉『精神の構造：レヴィ=ストロースと神話』Les Structures de l'esprit, Lévi-Strauss et les mythes, Presses Universitaires de France, 2013。

『ソブリン債：政治経済と国家』(ユリア・クリストとの共編)、Sous la direction de Julia Christ & Gildas Salmon, La dette souveraine : Economie politique et l'Etat, Editions de l'EHESS, 2018。

(休憩 15:40~15:50)

3. 報告 interventions (15:50~16:50)
川本彩花 KAWAMOTO Ayaka (日本学術振興会特別研究員・滋賀大学)
趣味と階層：文化資本の日本の状況
Goût et stratification sociale: situation japonaise du capital culturel

山田陽子 YAMADA Yoko (大阪大学)
「感情資本主義」の社会学史上の意義
Signification du « capitalisme émotionnel » dans l'histoire de la sociologie

4. コメント discussion (16:50~17:10) ジルダ・サルモン Gildas SALMON

5. 全体討論 discussion générale (17:10~18:00)

国際シンポジウム Colloque international

2月27日
(月)

社会学とその周辺： 人類学・哲学との関わり

Sociologie et ses alentours :
anthropologie et philosophie13:30~18:00 奈良女子大学 文学系 S棟 S235
Nara Women's University, S235司会 modératrice・横山寿世 YOKOYAMA Suzeri (聖学院大学)
通訳 interprète・白鳥義彦 SHIRATORI Yoshihiko (神戸大学)

言語：日本語・フランス語 (講演については逐次通訳あり)

1. 趣旨説明 présentation du colloque (13:30~13:40)
小川伸彦 OGAWA Nobuhiko (奈良女子大学)

2. 講演 conférence (13:40~15:40)
ジルダ・サルモン Gildas SALMON
(国立科学研究センターCNRS・社会科学高等研究院EHESS)
神話の構造分析の誕生：デュルケーム、グラネ、レヴィ=ストロース
Naissance de l'analyse structurale des mythes: Durkheim, Granet, Lévi-Strauss
(休憩 15:40~16:00)

3. 報告 intervention (16:00~17:00)
笠木丈 KASAGI Jo (甲南大学)
ベルクソンにおける有機体としての社会：
デュルケームの受容をめぐる
La société organique chez Bergson :
autour de la réception bergsonienne de Durkheim
(休憩 17:00~17:10)

4. コメント discussion (17:10~17:25)
ジルダ・サルモン Gildas SALMON

5. 全体討論 discussion générale (17:25~18:00)

社会学と、人類学・哲学というその隣接領域との関わりを、デュルケーム、グラネ、レヴィ=ストロース、ベルクソンに着目して考究する。

ラウンドテーブル：ジルダ・サルモン氏を囲んで

Table ronde : autour de M. Gildas SALMON

10:30~12:30 奈良女子大学 文学系N棟339教室

言語：日本語・フランス語 (逐次通訳あり)

話題提供：ジルダ・サルモン
話題：イギリス植民地帝国における社会科学の誕生
(La naissance des sciences sociales dans le cadre de l'empire colonial britannique) など

サルモン氏を囲み、話題提供をいただくとともに、フランスや日本の社会学事情・社会事情などについて自由に歓談します。

参加無料
申込不要2月28日
(火)奈良女子大学キャンパスマップはこちら→
または「奈良女子大学キャンパスマップ」で検索